

2026_0617 「2026年6月16日の関東地方の地震記録」 日々の理科 4329号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

この動画は、2026年6月16日19時46分ごろに発生した関東地方の地震の際、北軽井沢に設置された浅間山観測カメラが捉えた映像です。観測カメラは本来、浅間山の火山活動や気象の変化を記録するために運用されていますが、感度の高い固定カメラであるため、地震による微細な揺れも映像として記録されることがあります。この地震で群馬県西部は震度3程度の揺れを観測しており、北軽井沢でも地震動の影響が十分に感じられる規模でした。普段はほとんど動かない画面がわずかに振動することで、地震の発生を映像からも確認できる貴重な記録となっています。

動画のタイムスタンプに注目すると、19時46分から47分頃にかけて、画面全体が明らかに揺れている様子が確認できます。樹木や山体そのものが揺れているのではなく、観測カメラやその支持構造物が地震波によって振動した結果であり、映像全体が細かく揺さぶられるような特徴的な動きを示しています。夜間映像のため一見すると見落としがちですが、前後の静止した状態と比較すると、その違いははっきりと認識できます。

北軽井沢は震源から離れた高原地帯ですが、地震波は地盤を通じて広範囲に伝わるため、震度3程度でも固定観測機器には明瞭な影響が現れます。火山監視を目的として設置されたカメラが、偶然にも地震発生の瞬間を記録していたことは興味深く、自然観測の重要性を改めて示しています。普段は静かに浅間山の姿を映し続ける観測カメラが、この時だけは大地の振動を映像として伝えており、私たちの足元で起きている地球の活動を身近に感じさせてくれる記録となっています。継続的な観測の積み重ねが、こうした貴重な映像資料を生み出しているのです。

(2026年6月中旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

